



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 中越パルプ工業株式会社

コード番号 3877 URL <http://www.chuetsu-pulp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 明美

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長兼管理部長 (氏名) 楠原 勝市

TEL 0766-26-2404

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	23,253	△1.1	121	—	14	—	801	—
28年3月期第1四半期	23,507	△5.1	△530	—	△479	—	△352	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 574百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 △150百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第1四半期	6.00	—
28年3月期第1四半期	△2.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円銭	百万円	円銭	%	円銭
29年3月期第1四半期	128,443	—	53,749	—	41.8	402.52
28年3月期	132,784	—	53,231	—	40.1	398.64

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 53,749百万円 28年3月期 53,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円銭
第2四半期(累計)	44,500	△7.6	650	74.8	650	106.9	1,200	598.0
通期	90,000	△9.9	1,600	13.2	1,550	17.4	1,750	977.3

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	133,546,883 株	28年3月期	133,546,883 株
29年3月期1Q	12,908 株	28年3月期	12,570 株
29年3月期1Q	133,534,144 株	28年3月期1Q	122,722,984 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後様々な要因の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する情報	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

紙パルプ業界におきましては、景気浮揚感に乏しく、書籍・新聞・チラシ等に見られる紙需要の減衰に歯止めがかからず、加えて個別企業間の熾烈な競争によって市況の軟化が顕在化し、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループは将来に亘る生き残りを賭け、①生産品種の構造転換、②包装用紙生産と製袋事業の発展強化、③エネルギー事業への参入、④コストダウン、⑤パルプ高度利用化計画、を五本の柱とする中長期成長戦略プラン「ネクストステージ50」を策定し、収益構造の磐石化を企図し全社一丸となって邁進してまいりました。

また上記戦略の一環として、王子ホールディングス株式会社との業務・資本提携のもと、新会社設立による輸入チップの共同調達の実施、高級白板紙の共同生産に向けての設備改造及び製袋事業における新持株会社の設立など、諸方策を着実に具体化し推進してまいりました。

当第 1 四半期連結累計期間の事業経過につきましては、販売価格の落ち込み等はありませんでしたが、各工場におけるコスト削減及び木質バイオマス燃料発電設備の安定操業などにより収益力の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第 1 四半期連結累計期間の業績は下記のとおりとなりました。

連結売上高	23,253 百万円	(前年同四半期比 1.1%減)
連結営業利益	121 百万円	(前年同四半期は 530 百万円の連結営業損失)
連結経常利益	14 百万円	(前年同四半期は 479 百万円の連結経常損失)
連結四半期純利益	801 百万円	(前年同四半期は 352 百万円の連結四半期純損失)

(紙・パルプ製造事業)

◎ 新聞用紙

新聞用紙の販売は、撤退メーカーからの振り替え需要や、先の熊本地震による他メーカーからの一時的な代替需要により数量・金額とも前年を上回りました。新聞各社の発行部数は徐々に下げ止まり傾向にあるものの頁数の減少は広告減が影響し厳しい状況が続いております。

◎ 印刷用紙

印刷情報用紙の販売につきましては、価格修正の反動により荷動きが低迷した前年比では数量・金額ともに上回りました。

◎ 包装用紙

包装用紙の販売につきましては、販売努力により数量・金額とも前年を上回りました。

◎ 特殊紙・板紙及び加工品等

特殊紙の販売につきましては、加工業者の在庫調整が影響し、数量・金額とも前年を下回りました。

板紙・加工品等の販売につきましては、懸命な販売努力にも拘らず、旺盛であったインバウンド需要に陰りが見えて、数量・金額ともに前年並みとなりました。

これらにより、当事業の業績は下記のとおりとなりました。

連結売上高	20,622 百万円	(前年同四半期比 0.9%増)
連結営業損失	355 百万円	(前年同四半期は 724 百万円の連結営業損失)

(紙加工品製造事業)

紙加工品製造事業は、当社連結子会社であった中越パッケージ株式会社が製袋事業持株会社の傘下子会社になり、持分法適用会社となったことにより減収減益となりました。

これらにより、当事業の業績は下記のとおりとなりました。

連結売上高	1,194 百万円	(前年同四半期比 61.0%減)
連結営業利益	27 百万円	(前年同四半期比 27.1%減)

(発電事業)

発電事業につきましては、川内工場の木質バイオマス燃料発電設備が平成27年11月に営業運転を開始したことにより増収増益となりました。

これらにより、当事業の業績は下記のとおりとなりました。

連結売上高	1,539百万円	(前年同四半期比 334.5%増)
連結営業利益	350百万円	(前年同四半期比 202.1%増)

(その他)

建設事業につきましては設備投資の減少により減収となりましたが、紙断裁選別包装・運送事業につきましては工場の操業度アップによる生産・出荷増の影響により増益となりました。

これらにより、当事業の業績は下記のとおりとなりました。

連結売上高	3,858百万円	(前年同四半期比 19.8%減)
連結営業利益	79百万円	(前年同四半期比 269.0%増)

(2)連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

現金及び預金が2,338百万円、受取手形及び売掛金が2,352百万円減少したことなどにより、流動資産は前連結会計年度末に比べて10.0%減少し、43,448百万円となりました。また、製袋事業持株会社の傘下子会社を持分法適用会社としたことにより、投資有価証券が2,481百万円増加したことなどにより、固定資産は0.6%増加し、84,994百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.3%減少し、128,443百万円となりました。

(負債)

支払手形及び買掛金が3,578百万円減少したことなどにより流動負債は前連結会計年度末に比べて6.9%減少し、44,931百万円となりました。また、長期借入金が711百万円減少したことなどにより固定負債は4.9%減少し、29,761百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて6.1%減少し、74,693百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、53,749百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益801百万円、剰余金の配当333百万円などにより利益剰余金が591百万円増加したことなどによります。また、自己資本比率は、前連結会計年度末とくらべて1.7ポイント増加し、41.8%となりました。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表しました「平成28年3月期 決算短信」における業績予想から見直しは行っておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,624	4,285
受取手形及び売掛金	24,330	21,977
商品及び製品	8,229	7,837
仕掛品	687	650
原材料及び貯蔵品	5,659	5,399
その他	2,735	3,302
貸倒引当金	△11	△5
流動資産合計	48,255	43,448
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	53,002	50,054
減価償却累計額	△31,619	△29,498
建物及び構築物（純額）	21,383	20,555
機械装置及び運搬具	248,381	244,193
減価償却累計額	△203,953	△199,832
機械装置及び運搬具（純額）	44,427	44,360
その他	12,988	11,461
減価償却累計額	△2,826	△2,734
その他（純額）	10,161	8,726
有形固定資産合計	75,972	73,643
無形固定資産		
その他	352	308
無形固定資産合計	352	308
投資その他の資産		
投資有価証券	5,250	7,732
その他	3,108	3,432
貸倒引当金	△154	△122
投資その他の資産合計	8,204	11,042
固定資産合計	84,529	84,994
資産合計	132,784	128,443

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,236	10,657
短期借入金	27,558	27,282
未払法人税等	286	100
賞与引当金	560	187
その他	5,612	6,703
流動負債合計	48,254	44,931
固定負債		
社債	2,000	2,000
長期借入金	23,153	22,441
固定資産撤去費用引当金	345	209
退職給付に係る負債	5,525	4,919
その他	274	191
固定負債合計	31,298	29,761
負債合計	79,552	74,693
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,864	18,864
資本剰余金	16,253	16,253
利益剰余金	18,130	18,722
自己株式	△2	△2
株主資本合計	53,245	53,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	562	397
退職給付に係る調整累計額	△576	△566
為替換算調整勘定	-	81
その他の包括利益累計額合計	△14	△87
純資産合計	53,231	53,749
負債純資産合計	132,784	128,443

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	23,507	23,253
売上原価	19,923	18,918
売上総利益	3,583	4,335
販売費及び一般管理費		
販売手数料	1,609	1,691
運搬費	1,409	1,351
保管費	286	351
その他	809	819
販売費及び一般管理費合計	4,114	4,213
営業利益又は営業損失(△)	△530	121
営業外収益		
受取利息	1	6
受取配当金	83	95
為替差益	36	-
その他	52	32
営業外収益合計	174	134
営業外費用		
支払利息	75	65
為替差損	-	58
持分法による投資損失	-	99
その他	48	17
営業外費用合計	123	241
経常利益又は経常損失(△)	△479	14
特別利益		
投資有価証券売却益	50	-
固定資産売却益	50	-
持分変動利益	-	898
固定資産撤去費用引当金戻入額	-	7
特別利益合計	101	905
特別損失		
固定資産除却損	135	68
特別退職金	10	20
その他	1	-
特別損失合計	148	89
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△527	831
法人税、住民税及び事業税	16	29
法人税等調整額	△190	0
法人税等合計	△174	29
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△352	801
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△352	801

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△352	801
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	171	△141
繰延ヘッジ損益	22	-
退職給付に係る調整額	7	10
持分法適用会社に対する持分相当額	-	△95
その他の包括利益合計	201	△227
四半期包括利益	△150	574
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△150	574

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	紙加工品 製造事業	発電事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,335	2,959	354	22,649	858	23,507
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,107	100	—	1,207	3,952	5,159
計	20,442	3,059	354	23,856	4,810	28,666
セグメント利益 又は損失(△)	△724	37	115	△571	21	△549

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	△571
「その他」の区分の利益	21
セグメント間取引消去	24
固定資産の調整額	△11
その他の調整額	6
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△530

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	紙加工品 製造事業	発電事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,715	1,194	1,539	22,449	804	23,253
セグメント間の内部 売上高又は振替高	907	0	—	907	3,054	3,961
計	20,622	1,194	1,539	23,357	3,858	27,215
セグメント利益 又は損失(△)	△355	27	350	21	79	101

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	21
「その他」の区分の利益	79
セグメント間取引消去	19
固定資産の調整額	1
その他の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	121

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。